

町長コラム 第160号

感染拡大第7波

当町においても、7月に入り新型コロナウイルス感染者が急増しています。5月から6月は落ち着いていましたが、7月に入り24日までに判明した人は、107人となりました。

年代別の内訳は、10歳未満が最も多く25人、次いで10代が23人、40代が19人、30代が16人と続きます。子どもとその親世代の感染が拡大していると思われます。

これ以上感染者が増え続けると、発熱のため医療機関でPCR検査をしたくとも、予約が取りづらくなり、重傷者も増えることが予想されます。

町民の皆様は、どのような機会に感染リスクが高くなるのか分かっていると思います。

「ちょっとくらいなら…」と思わず、今一度、『マスクなしでの会話をしない』『換気をする』『外出したらこまめに手の消毒をする』など、熱中症に注意しつつ、感染に注意して、暑い夏を乗り切りましょう。

また、11歳以下のワクチン接種率は、20%から増えていないのが現状です。20代から40代の3回目接種も低迷しています。

今からでも接種は可能です。Webまたはハガキから申し込んでください。Webでは、本庄市児玉郡内の医療機関でも予約ができます。

副反応が心配でしたら、夏休み期間を利用して、接種が済むよう計画をお願いします。

感染者は、日本全体で増えています。また、新たな変異株が確認されています。第7波後の第8波に備え、5回目のワクチン接種があるかもしれません。

あなたやあなたの大切な人の命を守るため、感染対策とワクチン接種をお願いいたします。

7月1日から24日までに判明した年代別の感染者数

年代	感染者数
10歳未満	25人
10代	23人
20代	11人
30代	16人
40代	19人
50代	4人
60代	5人
70代	4人
合計	107人

令和4年度 第1回 遺跡の森 映画劇場

新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できなかった、遺跡の森「映画劇場」を3年ぶりに開催します。聴覚や視覚に障害のあるかたも一緒に楽しめる字幕と音声ガイド付き（副音声）で上映します。

多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用や来館前の検温、手指の消毒、来館記録の記入などにご協力をお願いします。



上映作品：あの日のオルガン

▶開催日 8月27日(土) ▶場所 美里町遺跡の森館
▶時間 午後2時～ ▶ホール
(開場:午後1時15分～) ▶定員 270名
▶入場料 無料

あらすじ

第2次世界大戦末期、東京都品川区戸越の保母が、園児53人を連れて埼玉県に集団で疎開した実話。「ただ、子どもたちの命を守りたい」と強い信念をみせた保母達、そして彼女達に守られた園児達は、戦時下で日々噴出するさまざまな問題に直面しながらも、生きることを一番に、お互いに励ましあいながら奮闘する姿を描いた真実の物語。

問合せ=教育委員会事務局 生涯学習係
(コミュニティセンター内) ☎76-3431

地域活性化起業人が着任しました！



たかだ としき
高田 利行

令和4年7月より、地域活性化起業人として、リコージャパン株式会社から美里町に着任しました、高田と申します。

リコージャパンでは営業職として、埼玉県、東京都、栃木県内の民間企業や自治体（公文教分野）を担当してきました。自治体（公文教分野）では、8年間ソリューション販売や地方創生に携わってきました。

美里町では、総合政策課に配属となり、町が取り組んでいる「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」における施策立案、事業推進を支援する業務に従事するとともに、職員および地域を対象としたデジタル技術の活用を推進してまいります。

これからどうぞよろしくお願いたします。

地域活性化起業人制度とは

地方公共団体が、三大都市圏に所在する民間企業などの職員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を活かしながら、地域独自の魅力や価値の向上などにつながる業務に従事してもらい、地域活性化を図る制度です。国の特別交付税が措置されます。

問合せ=総合政策課 まち創生係 ☎76-1114

美里町文化財ガイドブック2
14 大太刀伊吹丸

「伊吹丸」とは、東京都府中市にある大國魂神社の宝物館にある「御神宝大太刀伊吹丸」のことです。

この太刀の長さ（刃渡り）は三尺八寸（約一・一五メートル）で、銘文には「日本鍛冶惣匠 三品伊賀守金道 門人明林子長高作」の銘が刻まれています。この太刀の作者は、幕末期に十條に住み活動した刀工で、通称「岡部兵衛」といいます。八代伊賀守金道に師事し、刀工としては明林子と名のり、明治の廃刀令まで刀を作り、以後、農具鍛冶となりました。

長高という刀鍛冶は、刀剣書などにも見当たらない無名の刀工でしたが、「大太刀伊吹丸」が発見されたことで、その名が一躍、有名になりました。

【お詫びと訂正】
先月号で紹介した美里町の昔ばなしに誤りがありました。お詫びしますとともに訂正させていただきます。

（誤）亀の子山（正）亀の甲山
※ガイドブックの訂正は、増刷の際に行います。

※1 長高：長高の生まれた十條の岡部氏の家には、町指定文化財の脇差のほか何振かの長高の刀剣が残されており、同家の厚意により、すべて町に寄贈され、保護されている。長高は銘鑑漏れの刀工であり、粗末に扱われたためか、現存する作刀が少ない。

※2 師事：師匠として尊敬し、教えを受けること。

※3 廃刀令：明治九年に、軍人・警察が制服として着用する以外、一般に刀を身に付けることを禁じた法律。

※4 刀剣書：世に出た刀や刀鍛冶等についてまとめられた書物の総称。

今でも長高作の刀剣が発見される事があり、大変貴重な品物です。

大太刀伊吹丸の中心押形